別紙１（競争力強化研究開発支援事業）

事業実施計画書

１　　資本金の額以外については県内における状況を記載してください。

（１）名称

（２）業種

（３）所在地

（４）資本金の額　申請時点又は直近決算期の払込資本金又は出資金額を記載してください。

（５）従業員数　常時使用する従業員の数を記載してください。

（６）事業の内容

イ　事業内容　　　　現在営んでいる主な事業及び主たる生産品目名、年間生産額等を事業所毎に記載してください。

ロ　商品等の特徴、自社の強み

ハ　現在の課題　　　自社が掲げる経営理念やビジョン（実現したい未来やあるべき姿）と現状にギャップが生じている際にその差を埋めるために行うべきこと（例：収益性の向上、技術力の強化）を記載してください。

（７）申請者の略歴　　　企業の沿革を記載してください。

（８）事業担当者の連絡先

イ　事業担当者の職・氏名

ロ　電話番号

ハ　メールアドレス

（９）使用する県産農林水産物の概要（農商工枠のみ）

　［使用する県産農林水産物］　本事業で使用する香川県産の農林水産物の名称を記載してください。

　［調達予定先］　上記農林水産物の調達予定先（生産者名や購入予定の団体・小売店名等）を記載してください。

２　事業の説明

（１）事 業 名　交付申請書と同じ事業名を記載してください。

（２）申 請 枠　「一般枠」と「農商工枠」のいずれかを記載してください。

（３）事業の背景・目的とその市場性

　　イ　背景・目的

 　　　 なぜこの事業を実施しようとするのか、その目的・背景等について、自社の直面する課題を整理したうえで記載してください。

　　　　農商工枠を申請する場合は、上記農林水産物の使用を選んだ目的・背景等についても記載してください。

　　ロ　市場性

　　　 この事業で開発する新商品等の市場はどういう状況なのか、その市場の拡大は見込めるのか、具体的なターゲット層はどのように想定しており、開発する新商品等がこれらのニーズを満たせるものであるか等について、客観的データに基づく調査・検討を基に記載してください。

（４）事業の内容及び方法とその新規性、妥当性及び実現可能性

　　イ　内容及び方法

事業の内容や方法、目標等を詳細に記載してください。

事業を実施し、事業化するに当たって関係すると思われる知的財産権（他が所有するものも含む。）があれば記載してください。また、類似又は関連する取組が他で行われていることが知られている場合は、当該取組との相違点を記載してください。

ロ　新規性

　　 この事業のどういうところが新しい研究開発であり、既存の商品等と比較して性能、品質、又はコスト等で優れた点があるかについて記載してください。

　　ハ　妥当性

この事業が、自社の課題の解決方法として論理的であり矛盾や飛躍がないか、申請事業の実施によって期待する事業成果が得られ課題の解決につながると考えられるかについて記載してください。

　　ニ　実現可能性

　　 この事業を円滑に実施するための組織・体制造りはどうなのか等について記載してください。

（５）現在までの準備状況

　　 この事業を成功させるため現在までにどのような準備をしているのかについて記載してください。

（６）想定される販売先・ターゲットとその販路開拓に係る課題

　　イ　想定販売先・ターゲット

　　　　想定販売先・ターゲットが個人消費者である場合は地域、年代、性別、家族構成、所得、ライフスタイル等により、企業である場合は地域、業種、業態、企業規模、生産・販売品目等により、それぞれ市場を細分化したうえで想定販売先・ターゲットを記載してください。

　　ロ　販路開拓の方法

　　　　想定販売先・ターゲットに対して、どのように商品等を認知させるか、また流通・販売チャネルをどのように開拓するかについて記載してください。

　　ハ　販路開拓にあたっての課題

　　　　販路開拓にあたって今後自社が行うべきこと（例：営業人員の確保、流通・販売チャネルや展示会等の情報の収集）を記載してください。

３　事業の実施体制　県内における状況を記載してください。

（１）事業担当者並びに事業の経理担当者の職・氏名

　　イ　事業担当者　職・氏名

　　　　　　　　　　　同略歴

　　ロ　経理担当者　職・氏名

（２）事業担当者以外の担当者の職・氏名

（３）他からの指導者又は協力者

　　 事業を遂行するにあたり、他からの指導者又は協力者がある場合は、その指導者又は協力者の所属、氏名、職名並びに指導又は協力を受ける事項を記載してください。

なお、「指導者」とは有償で技術の提供を行う者を、「協力者」とは無償で助言等を行う者とします。

４　推進日程計画（記載例）



５　成果を利用した事業化計画、成長性と地域活性化への波及効果

　　イ　事業化計画

今回の事業の成果に係る新製品・新商品等の事業化を達成するための計画を、以下の観点を踏まえて、具体的に記載してください。

○新製品・新商品を生産、販売、提供等するために必要な人材、設備、協力体制

○想定される販売先・ターゲットの動向

○販売促進戦略

○事業化に至るまでのスケジュール

　　ロ　売上目標額　　事業完了後において、今回の事業の成果を活用した商品又はサービスの販売等により見込まれる売上目標額を記載するとともに、その積算根拠を明らかにしてください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 売上目標額 | 積算根拠 |
| 年度 | 千円 |  |
| 年度 | 千円 |  |
| 年度 | 千円 |  |

　　ハ　成長性

今回の事業の成果を踏まえ今後どのような方向に進もうとしているのか、会社の競争力の強化について、以下の観点を踏まえて、具体的に記載してください（わかりやすく数値や図を使って記載してください）。

　○将来的な自社の事業拡大

　○新たな事業展開の可能性

　○他社との差別化、利益率や知名度の向上

　　ニ　地域活性化への波及効果

　　　　成果が県内産業の振興、新産業の創出や新たな雇用創出にどのように繋がるのかについて記載してください。

６　事業実施に必要な予算　別表のとおり

７　申請した事業内容について、中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画の香川県からの承認の有無

８　助成金の交付を受けた実績

　　この申請に関連して過去に交付を受けた助成金又は現在交付申請中の助成金があれば、その名称、交付主体、交付金額及び交付年月日を記載してください。

（注）作成が完了した時点で青字の注記は削除してください。